

先日の「3年生を送る会」では、1年生の心温まる教室装飾、招待状、2年生の高いパフォーマンスを見させていただき、時間をかけて準備をしてきたことが伝わりました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

さて私達3年生は、いよいよ卒業の日を迎えます。
私たちがこの場に立つことができたのは、今まで支えてくださった、家族や友人、そして、先生方のおかげです。心より感謝いたします。

私たちのこれまでの中学校生活を振り返ると、「楽しいこと」や「嬉しかったこと」、そして、「辛かったこと」など、さまざまな経験をしてきました。

「何気ない会話で友達と笑いあったこと」や「学校行事に全力で取り組んだこと」、「何もかもうまくいわずに逃げ出したくなったこと」、ときには「挫折」も味わいました。

しかし、それらの時間があったからこそ、私たちは「成長」し、今があるのだと思います。うまくいかないことの方が多かったけれど、諦めずに自分のペースでコツコツと積み重ねていくことが大切だと知ることができました。

そのような経験を通して、私たち3年生から1、2年生に伝えたいことがあります。「今ある環境はあたりまえではない」ということです。

私たちの中学校生活は「毎日の授業や部活動」、「友達との何気ない会話」で成り立っています。しかし、これらの日常は実はとても貴重なものであると、三年間を通して学びました。いつも一緒にいるからあたりまえなのではなく、友達がそばにいてくれること、困った時に助けてくれること、失敗をした時に励ましたり、怒ってくれたりする人がいること。そのときは気づかないかもしれないけれど、今思うとたくさんの人に支えられていたことに改めて気づきました。

時間はあっという間に過ぎてしまいます。失敗も後悔も多かった三年間だけど、たくさんの人に支えられ、自分と向き合ってきた時間はかけがえのないものです。

宮本中学校にはきっと、困っているとき、辛いときに手を差し伸べてくれる人がいるはずです。だから今ある時間を大切に、目の前のことに全力で向き合ってください。

ここにいる三年生は4月からそれぞれ別の道に進みます。新たな環境で不安になることも多いと思いますが、ここで学んだことを胸に、自信をもって、それぞれの新しい道に進んでいきます。

1、2年生も私達に負けず中学校生活を充実した時間にしていてください。

今まで本当にありがとうございました。